

# 茅ヶ崎セントラルクリニック

毛利 朋代(事務 / 総務経理)

**功 績** 災害時における透析患者さんへの迅速な情報提供体制の構築に向け、LINE公式アカウントを活用した患者連絡網の整備を主体的に企画・推進した。患者アンケートや院内調整を通じて現実的かつ実効性の高い連絡体制の整備に取り組み、患者さんの安全確保と医療継続体制の強化に大きく貢献した功績。

**推薦者氏名** 野口伸一(事務長)

**推薦理由** 本取り組みは、災害時に透析患者さんへ迅速かつ確実に情報を届ける体制を整備するものであり、患者さんの生命を守る医療機関として極めて重要な基盤整備です。

毛利氏は課題の発見から調査、院内調整、仕組みづくりまで主体的に推進し、患者視点に立った実効性の高い体制構築に大きく貢献しました。

その主体的な行動力と患者安全への高い意識は当院の医療の質向上に寄与するものであり、理事長賞にふさわしい功績として推薦いたします。

## 内 容

透析患者さんにとって災害時の透析継続可否に関する情報は生命に直結する重要なものであるが、当院では多数の患者さんへ迅速に情報を伝達する仕組みが十分に整備されていないことが防災委員会における懸念事項となっていた。

毛利氏はこの課題を自ら主体となって解決したいと決意し、院内運営会議において患者さんやご家族の家庭環境、年齢層、ITリテラシーなどを踏まえ、どの通信手段が最も現実的かを検討した。そのうえで患者アンケートを実施し、電話連絡やメール等との比較検討の結果、LINE公式アカウントによる一斉配信型の連絡体制が最も有効であるとの結論に至った。

現在の登録患者165名のうち、まずは約半数にあたる80名への確実な連絡体制の確立を目標として連絡体制を整備できるようになった。

IT機器利用に不慣れな患者さんへの配慮や災害への意識の低さといった課題にも丁寧に対応しながら院内調整を進め、災害時に透析実施可否等の重要情報を迅速に患者さんへ伝達できる体制の構築に道筋をつけ、患者さんの安全確保と医療継続体制の強化に大きく寄与した。